

第五十一次帝國議會  
衆議院

# 關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第二回

## 會議

大正十五年二月三日(水曜日)午前十時  
二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

飯塚春太郎君 神部 爲藏君

井上 利八君 奥村 千藏君

三好榮次郎君 松本 眞平君

堀切善兵衛君 山本条太郎君

佐々木文一君 長田 桃藏君

星島 二郎君 山内 範造君

高橋 光威君 本多貞次郎君

沼田嘉一郎君 清水 長郷君

佐々木平次郎君 岡田 溫君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 早速 整爾君

商工大臣 片岡 直溫君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

商工參與官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 只今ヨリ關稅定率法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス

○永田委員 一寸議事ノ進行ニ付キマシテ申上ゲタイト思ヒマス、本案ハ今期議會中ノ政府提出法律案トシマシテハ重大ナル案ト思ハレマスノデ、殊ニ國民生活ノ各方面ニ互リマシテ、最モ重大ナル關係ノアル議案デアアルノデアリマスルカラ、旁々以チマシテ總テノ法律案ニ付テ慎重審議スルコトハ勿論デアリマスガ、本案ニ付キマシテハ特ニ其審議ヲ慎重ニシタイト思フノデアリマス、就キマシテハ先ヅ本案審議ノ順序ト致シマシテ、當局カラ致シマシテ商工省 大藏省主管ノ各當局ヨリ本案ニ對スル懇切ナル説明ヲ戴キマシテ、ソレニ續キマシテ大體ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、各派ニ於キマシテ相當ナ人員ヲ割當テマシテ、サウシテ此質問ヲ先ヅ兩三日繼續ヲ致シマシテ、ソレガ終リマシタ後ニ、各派別ニ付キマシテ逐條審議的ニ一ツ審議進メテ行キタイ、是ガ終リマシテ三四日委員會ヲ休會致シテ、各派ノ本案ニ對スル態度ヲ決メマシタ後ニ、更ニ委員會ヲ開イテ討論ニ移ル、斯様ナ順序ニ致シテ本案ノ審議ヲ決了致シタイト思フノデア

リマス、委員長ニ於カレマシテ宜シク御取計ノ程ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○加藤委員長 只今永田君ノ發議ノ通り、先ヅ主管大臣ノ懇切ナル説明ヲ聽イテ、然ル後總體ニ付テ質疑應答ヲ重ネ、ソレガ濟ンデカラ分類ニ付テ質疑應答ヲ重ネ、サウシテソレガ終ッテ、三四日間休會ヲシテ、其間ニ各派ノ意見ヲ定メ、サウシテ更ニ委員會ヲ開イテ討論ニ移ルト云フコトデアリマスガ、之ニ對シテ御異存ハアリマセヌカ

「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○加藤委員長 ソレデハ永田君ノ發議ノ通り決定致シマス——ソレデハ主管大臣カラ御説明ヲ願ヒマス

○黒田政府委員 只今主管ノ大臣ヨリト云フ御話デゴザイマシタガ、大藏大臣ハ只今他ニ參ッテ居リマシテ差支ガゴザイマスノデ、私カラ大體ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、關稅定率法ノ改正案ニ付キマシテハ、既ニ先日本議場ニ於キマシテ、大藏大臣ヨリシテ大體ノ御説明ヲ申上ゲマシタノデアリマス、ソレ故ニ改正ノ方針又理由等ニ付キマシテハ、私ハ此所ニ之ヲ省略致シマシテ、内容ニ入リマシテ、改正ノ要點竝ニ其理由ニ付テ大要御説明申上ゲ

タイト考ヘルノデアリマス、先ヅ定率法ノ前文ノ改正ニ付テ申上ゲマスト、此前文ハ關稅ノ賦課、減免及拂戻等ニ關シマスル規定デアアルノデアリマシテ、是モ別表ト同ジヤウニ明治四十三年ノ制定ニ係ルモノデアアルノデアリマス、其後大正十年迄ニ數度必要ナ部分的ノ改正ヲ行ツタノデアリマシテ隨ッテ今同其骨子ニ付テハ、大體現行ノ通りテ支障ナイコト考ヘテ居リマスガ、今同別表ノ改正ニ伴ヒマシテ、自然多少改正ノ必要モアリマスルシ又今日關稅行政ヲ執行シテ參リマス實際ノ上カラ見マシテ不便ノ點モアルノデアリマス

ソレ等ニ付キマシテ數條ノ改正ヲ致スコトニ致シタノデアリマス、先ヅ第一ニハ四條ノ改正デアリマスガ、是ハ即チ保護關稅ニ關スル規定デアリマシテ、本邦ノ輸出品、又本邦ノ通過品ニ對シマシテ、或ル國ニ於テ第三國ニ對シマスルヨリモ利益ナル取扱ヲ致シマス

場合ニ於キマシテハ、此方ニ於キマシテモ其國ノ輸出品、其國ノ通過品ニ對シテ、報復的ニ關稅ヲ課シ得ルト云フ一種ノ稅デアアルノデアリマス、是ハ今後ハ國際經濟ノ事ヲ考ヘマスト云フト必要ナル規定デアリマス、外國ニ於キマシテモ其例モアルノデアリマス、ソレカラ此七條中ノ改正ニ付キマシテ

タイト考ヘルノデアリマス、先ヅ定率法ノ前文ハ關稅ノ賦課、減免及拂戻等ニ關シマスル規定デアアルノデアリマシテ、是モ別表ト同ジヤウニ明治四十三年ノ制定ニ係ルモノデアアルノデアリマス、其後大正十年迄ニ數度必要ナ部分

的ノ改正ヲ行ツタノデアリマシテ隨ッテ今同其骨子ニ付テハ、大體現行ノ通り

テ支障ナイコト考ヘテ居リマスガ、今同別表ノ改正ニ伴ヒマシテ、自然多少改正ノ必要モアリマスルシ又今日關稅行政ヲ執行シテ參リマス實際ノ上カラ見マシテ不便ノ點モアルノデアリマス

ソレ等ニ付キマシテ數條ノ改正ヲ致スコトニ致シタノデアリマス、先ヅ第一ニハ四條ノ改正デアリマスガ、是ハ即チ保護關稅ニ關スル規定デアリマシテ、本邦ノ輸出品、又本邦ノ通過品ニ對シマシテ、或ル國ニ於テ第三國ニ對シマスルヨリモ利益ナル取扱ヲ致シマス

場合ニ於キマシテハ、此方ニ於キマシテモ其國ノ輸出品、其國ノ通過品ニ對シテ、報復的ニ關稅ヲ課シ得ルト云フ一種ノ稅デアアルノデアリマス、是ハ今後ハ國際經濟ノ事ヲ考ヘマスト云フト必要ナル規定デアリマス、外國ニ於キマシテモ其例モアルノデアリマス、ソレカラ此七條中ノ改正ニ付キマシテ

タイト考ヘルノデアリマス、先ヅ定率法ノ前文ハ關稅ノ賦課、減免及拂戻等ニ關シマスル規定デアアルノデアリマシテ、是モ別表ト同ジヤウニ明治四十三年ノ制定ニ係ルモノデアアルノデアリマス、其後大正十年迄ニ數度必要ナ部分

的ノ改正ヲ行ツタノデアリマシテ隨ッテ今同其骨子ニ付テハ、大體現行ノ通り

テ支障ナイコト考ヘテ居リマスガ、今同別表ノ改正ニ伴ヒマシテ、自然多少改正ノ必要モアリマスルシ又今日關稅行政ヲ執行シテ參リマス實際ノ上カラ見マシテ不便ノ點モアルノデアリマス

ソレ等ニ付キマシテ數條ノ改正ヲ致スコトニ致シタノデアリマス、先ヅ第一ニハ四條ノ改正デアリマスガ、是ハ即チ保護關稅ニ關スル規定デアリマシテ、本邦ノ輸出品、又本邦ノ通過品ニ對シマシテ、或ル國ニ於テ第三國ニ對シマスルヨリモ利益ナル取扱ヲ致シマス

場合ニ於キマシテハ、此方ニ於キマシテモ其國ノ輸出品、其國ノ通過品ニ對シテ、報復的ニ關稅ヲ課シ得ルト云フ一種ノ稅デアアルノデアリマス、是ハ今後ハ國際經濟ノ事ヲ考ヘマスト云フト必要ナル規定デアリマス、外國ニ於キマシテモ其例モアルノデアリマス、ソレカラ此七條中ノ改正ニ付キマシテ

タイト考ヘルノデアリマス、先ヅ定率法ノ前文ハ關稅ノ賦課、減免及拂戻等ニ關シマスル規定デアアルノデアリマシテ、是モ別表ト同ジヤウニ明治四十三年ノ制定ニ係ルモノデアアルノデアリマス、其後大正十年迄ニ數度必要ナ部分

的ノ改正ヲ行ツタノデアリマシテ隨ッテ今同其骨子ニ付テハ、大體現行ノ通り

テ支障ナイコト考ヘテ居リマスガ、今同別表ノ改正ニ伴ヒマシテ、自然多少改正ノ必要モアリマスルシ又今日關稅行政ヲ執行シテ參リマス實際ノ上カラ見マシテ不便ノ點モアルノデアリマス

ソレ等ニ付キマシテ數條ノ改正ヲ致スコトニ致シタノデアリマス、先ヅ第一ニハ四條ノ改正デアリマスガ、是ハ即チ保護關稅ニ關スル規定デアリマシテ、本邦ノ輸出品、又本邦ノ通過品ニ對シマシテ、或ル國ニ於テ第三國ニ對シマスルヨリモ利益ナル取扱ヲ致シマス

場合ニ於キマシテハ、此方ニ於キマシテモ其國ノ輸出品、其國ノ通過品ニ對シテ、報復的ニ關稅ヲ課シ得ルト云フ一種ノ稅デアアルノデアリマス、是ハ今後ハ國際經濟ノ事ヲ考ヘマスト云フト必要ナル規定デアリマス、外國ニ於キマシテモ其例モアルノデアリマス、ソレカラ此七條中ノ改正ニ付キマシテ

タイト考ヘルノデアリマス、先ヅ定率法ノ前文ハ關稅ノ賦課、減免及拂戻等ニ關シマスル規定デアアルノデアリマシテ、是モ別表ト同ジヤウニ明治四十三年ノ制定ニ係ルモノデアアルノデアリマス、其後大正十年迄ニ數度必要ナ部分

的ノ改正ヲ行ツタノデアリマシテ隨ッテ今同其骨子ニ付テハ、大體現行ノ通り

ハ、本邦ニ派遣セラレテ居リマス外國ノ大使、公使其他之ニ準スベキ使節ニ屬スル自用品、及本邦ニ於キマスル外國ノ大使館、公使館ニ屬シマスル公用品デアリマスルガ、之ニ就テハ現行ニ於キマシテハ絶對ニ免稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ現在外國ニ於キマシテ我國ノ大使又ハ公使其他ノ自用品、或ハ大使館、公使館ノ公用品ニ對シマシテ制限ヲ附ケテ免稅ヲスル國ガアルノデアリマス、ソレ故ニ是等ノ國ニ對シマシテ、矢張我國ニ於キマシテモ制限的免稅ヲスルコトガ適當デアラウト考ヘマシテ、ソレ故ニサウ云フ場合ニ於テハ制限的免稅ヲ爲シ得ルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ第十號ノ改正デアリマスガ、是ハ一面ニ於キマシテハ其範圍ヲ廣メ、又一面ニ於キマシテハ適用ヲ制限シタコトニナツテ居リマス、即チ現行ニ於キマシテハ私立ノ専門學校ト云フコトニ限定ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、之ヲ少シク廣メ、命令ヲ以テ指定シタル私立ノ學校ト云フコトニ致シタノデアリマス、同時ニ又一面カラ見マスト云フト、此規定ノ適用ニ當リマシテ稍廣キニ過ギ、或ル場合ニ於テハ是ハ濫用サルルト云フ嫌ヒガアリマシテ、適用上屢問題ヲ起スノデアリマスカラ、ソレ故ニ是等ノ事ニ鑑ミマシテ、大藏大臣ノ許可シタルモノト云フコトニシ

テ、今後は等ノ適用ノ規定ヲ統一的ニ制限ヲ致シタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ第十一項ノ改正ニ付キマシテモ、是ハ從前適用上ニ付キマシテ屢問題ヲ起スノデアリマシテ、現行ノ規定ガ稍抽象的ニ規定サレテ居リマス爲ニ、免稅ヲ致シマス範圍ニ於テ、屢各稅關ニ於キマシテ取扱上統一ヲ缺ク場合ガ起リ易イ、又是等ノ免稅ヲ致シマスコトニ付テモ、屢適用ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フコトモアリマスノデ、ソレ故ニ稍具體的ニ規定ヲ致シマシテ、適用上ノ便宜ニ致シタノデアリマス、ソレカラ十五號ノ規定ハ送還品デアリマスルガ、之ニ就キマシテモ在外公館カラシテノ送還品ニ付テ免稅ノ規定ガアリマセヌ爲ニ、適用上ニ實際ノ不便ヲ感ジタノデアリマス、此際ニ於テ之ヲ改正致シタインデアリマス、ソレカラ二十號ノ外國航行ノ艦船ニ引渡シマス物品ノ規定デアリマスガ、之ニ就キマシテハ現行ハ開港内ニ限ツテ居リマシタガ、外國航行ノ船ガ其以外ニ入りマス場合ガアルノデアリマス、ソレ等ノ場合ニ是等ノ船用品ヲ免稅致スコトモ、別ニ取締上ニ於テ不都合ガナイノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ加ヘタノデアリマス、二十二號ニ付テハ但書ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ現在通りデアリマスガ、但書ヲ加ヘテソレヲ補ツタノデアリマス、七條ノ十一號ノ二ノ「社寺、教會又ハ禮拜堂ニ

寄贈セラレタル式典用具及禮拜用具、是モ自然精神生活ノ方面ニ必要デアラウト考ヘマシテ加ヘタノデアリマス、ソレカラ八條ノ六號ノ二ノ「製作見本品トシテ輸入スルモノ」、是ガ規定ヲ缺イテ居リマシタ、見本トシテ本邦ニ寄越シマシテ、サウシテ其見本ニ依テ外國ニ輸入スル場合ノ規定ヲ缺イテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ追加シタノデアリマス、九條ニ付キマシテハ、是ハ本法ノ改正ニ伴ヒマシテ自然改正ノ必要ヲ生ジタノデアリマス、第一ニ此現行ニ於テハ亞鉛華ヲ構成致シマシタ場合ニ、其原料ニ對シマシテ輸入稅ノ一部若クハ全部ヲ免除スル規定ガアリマシタガ、是ハ亞鉛ヲ用キズシテ亞鉛華ヲ造リマシテ、「ペイント」ヲ造ル場合ニ於キマシテ「ペイント」ニ對シマシテ英吉利トノ協定稅率ノアリマシタ爲ニ、亞鉛華ノ稅率ヲ引上グルコトガ出來ナカッタノデ、隨テ此亞鉛華ニ對シマシテ其用ヒマシタ亞鉛ニ對シマシテ免稅ヲ致シマシタ、御承知ノ通り昨年三月十日ニ於キマシテ英吉利トノ協定ガ消滅致シタ、隨テ適當ノ稅率ヲ課スルコトニナリマシタノデ、亞鉛華ニ致シテモ其必要ガ無クナツテ參リマシタ、ソレカラ茶鉛ヲ加ヘマシタガ、是ハ即チ此輸出品ノ包裝ニ使ハレルノデアリマス、外國ニ輸出サレマスモノノ包裝用ニナルノデアリマスカラ、其製作ハ適當ニ便宜ヲ圖ルコトガ必要デアルト云フ考

カラ、其製作ニ對シマシテハ、此原料ニ對シテ免稅ヲスル規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラシテ亞鉛薄板デアリマスガ、是ハ現行ノ規定ハ厚サガ〇・二「ミリメートル」ヲ超エザルモノハ薄板ニナツテ居リマスガ、是ハ御承知ノ通り燃寸等ノ包裝ニ使ハレマシテ輸出サレルモノデアリマスガ、事實ニ於キマシテハ〇・二ノ厚サマデハ要ラナイ、ソレ等ノモノニ對シマスル必要ト致シマシテハ、〇・一七「ミリメートル」ト云フモノデ十分デアルト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレ故ニ是ハ改メマシテ〇・一七「ミリメートル」ニ致シマシタ、ソレカラ現今ニ於キマシテハ之ヲ肥料ノ製造ト云フコトニ使ツテ居リマスガ、是ハ油又ハ油精製造ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレ等ガ此第九條第二項ノ改正デアアルノデアリマス、別表ノ改正ニ付キマシテハ、先般大藏大臣カラシテ其大體ノ方針ノ説明ガアッタノデアリマスカラ、ソレ等ノコトハ省略致シマスルガ、第一申上ゲマスルコトハ、贅澤品等ニ關シマスル法律ノ關係デアリマシテ、此所謂贅澤稅ヲ課シテ居リマスル品目ニ付キマシテハ、其設置ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、暫ク是ハ別個ニ致シマシテ手ヲ觸レナイコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニアノ法律ニ規定シテ居リマスルモノハ、現行ノ別表ノ稅番ヲ掲ゲテ品目ヲ指定シテ居ルノデアリマ

ス、ソレ故ニ今回ノ別表ニ於キマシテハ、ソレ等ノ稅番ハ動カサナイコトニ致シテ居ルノデアリマス、隨テ今回ノ別表ニハ色々ノ品目ガ、多少分類ヲ變ヘテアリマスガ、併ナガラソレ等ニ關係致シテ居リマスル品目ニ關シマスル稅番ニハ異動ガナイノデアリマス、隨テ此關係ニ於キマシテハ、贅澤品等ニ對シマスル法律ヲ變更スル必要ハナイノデアリマス、關東州ヨリ輸入シマスル關東州ノ生産ニ係リマス物品ノ輸入稅免除ニ對シマスル法律デアリマスガ、是モ矢張同ジヤウニ現行ノ別表ノ稅番ヲ掲ゲテ品目ヲ指定シテ居ルノデアリマス、之ニ就キマシテハ一二變更ヲ致サナケレバナラヌ所ガアルノデアリマス、是ハ何レ其法律ノ改正案トシテ御協賛ヲ願フヤウニナルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、輸入稅表ノ編成ノコトニ付テデアリマスガ、是モ根本的ニ之ヲ變ヘマスレバ、又色々立テ方ガアルノデアリマスカラ、改正スベキ點モアラウト考ヘルノデアリマスガ、既ニ相當長年月ノ間實際ニ施行致シマシテ、官民共ニ之ニ慣熟致シテ居ルノデアリマスカラ、先ヅ大體ハ現行ノ儘ニ之ヲ致シタノデアリマス、唯此稅目ノ配列分類ノ方法ニ付キマシテハ、今申上ゲマスヤウニ成ベク現行ノモノヲ踏襲致シテ居リマスガ、實施致シマス上ニ於キマシテノ便否モ考ヘマシテ、多少變更致ス所モアルノデゴザイマ

ス、即チ現在ニ於キマシテ二ツニ分ケテ居リマスモノガ、實際ノ品物ニ當リマシテ、稅關ノ通關ノ手續ヲ致シマス上ニ於テ區別ノ困難デアルト云フ風ナモノハ、之ヲ一ツニ合セマストカ、或ハ藥品等ノ所ニ於キマシテ花デアルトカ、根デアルトカ、葉デアルトカ云フ風ノモノガ色々アルノデアリマスガ、是等ガ諸所ニ散ツテ居リマシテ見ルノニ不便ノヤウナモノハ、成ベク之ヲ一ツノ所ニ集メルト云フ風ニ致シテ居リマス、又今マデ別號ニ掲ゲザル品目トシテ掲ゲテ、一ツノ中ニ入レテ特掲ヲ致シテ居リマセヌ品物ニ付キマシテモ、今日輸入ノ相當多イ物ガアツテ、特ニ之ニ對シテ稅率ヲ盛ルト云フコトガ適當ナモノニ付キマシテハ、ソレ等ノ中カラ之ヲ抽出シテ、別ニ特掲ヲ致シマシテ、適當ノ稅率ヲ盛ルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ所々ニハ實際ノ便宜ヲ考ヘマシテ變ヘタ所モアルノデゴザイマスガ、前申シマス通り大體ニ於キマシテハ、稅率ノ配列又ハ分類ト云フコトモ現行法ヲ踏襲致シテ居ルノデアリマス、ソレカラシテ今日從價稅デアリマスモノモ、從量稅ニ直スコトノ出來マスルモノハ、成ルベク之ヲ直ス方針ヲ執ツタノデアリマスガ、又同時ニ一方ニハ從量稅ニナツテ居リマスモノモ、輸入ガ非常ニ少クシテ實際ニ從量稅ヲ割出スコトガ困難デアルト云フ風ナモノハ、之ヲ從價稅ニ改

メマスモノモアルノデアリマスシ、又新ニ設ケマシタモノニ付キマシテモ、從量稅ニ於テ適當ナル從量稅ヲ割出シ價格ヲ見出スコトノ困難ナモノニ付キマシテハ、從價稅ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、結局ニ於キマシテ從量稅ニナリマシタ數ハ、現行ニ較ベテ僅カシカ増加致シテ居ラヌノデアリマス、併ナカラ出來ルダケハ實際ノ通關ノ上ニ於キマシテモ從量稅ガ便宜デアリマスカラ、出來ルダケハ從量稅ニ改メルトニ致シタノデアリマス、ソレカラ稅率ヲ盛リマスルニ付キマシテ、大體ノ方針ハ、是ハ大藏大臣ヨリモ御話ガアッタノデアリマスガ、生活ノ必需品等ニ付キマシテハ成ベク輕減スルト云フ趣意カラ致シマシテ、此前ニモ申上ゲマシタ通り、生牛肉或ハ鳥卵等ニ付キマシテハ之ヲ引下ゲ、或ハ鳥獸肉ノ罐詰トカ、或ハ生鮮ナル魚介類、或ハ魚介類ノ罐詰等ニ付キマシテハ稅率ヲ引下ゲテ居ルノデアリマス、又稅率ヲ引下ゲルトコトヲ致シマセヌデモ、ソレ等ノ趣意カラ致シマシテ據置キマシタモノハ、或ハ小麦デアルトカ、或ハ小麦粉デアルトカ、大豆デアルトカ、「バター」デアルトカ、或ハ或種ノ醫藥品等ニ付テハ據置ヲシテ居ルノデアリマス、ソレカラ別表ニアリマスモノニ付キマシテハ、成ベク之ヲ無稅ニシ、若クハ課稅ヲ廢スルト云フコトニ注意ヲ致シタノデアリマス、例ヘバ製藥ノ原料ト云フ

ヤウナモノニハ、無稅ニ致シタモノモアルノデアリマス、或ハ「ビッチ」デアリマストカ、或ハ木「タール」トカ云フヤウナモノハ、是ハ無稅ニナツテ居ルノデアリマス、又染料トカ醫藥品ノ原料デアリマストカ、「コールタール」ノ分留物、是ハ二割カラ免稅ニ致シテアリマス、又工業用ノ藥品等ニ對シテハ、硫酸曹達トカ、或ハ硫酸「ノトリウム」トカ、或ハ硝酸「セリウム」、「ロヂウム」鹽類、或ハ木精ト云フヤウナモノ、之ヲ皆無稅ニ致シテ居ルノデアリマス、又工業ニ使ヒマス眞綿、「ベニ」ト云フヤウナモノモ無稅ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ輸出獎勵ノ爲ニ免稅ヲ致シマシタヤウナモノニ付キマシテモ、減免致シマシタモノハ、或ハ水晶ノ原石デアアル、或ハ「アンペラ」袋、是等モ無稅ニ致シタノデアリマス、或ハ漂白シマシタ手織ノ亞麻布、是モ輸入致シマシタハ更ニ加工シテ海外ニ輸出スル物デアリマスカラ、現在モ無稅ニ致シテゴザイマスガ、其範圍ヲ實際ニ合ヒマシヤウニ、適當ニ修正擴張ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ稅率ヲ盛ル上ニ於テ、稅率即チ何割ト申シマスルモノモ引下ゲ、又ソレヲ從量稅ニ直シ、其從量稅率モ共ニ引下ゲタモノモアルノデアリマスガ、併ナガラ稅率ヲ引下ゲルトカ若クハ據置キマシテモ、價格ノ關係カラ致シマシテ、實際ニ從量稅率ガ幾分カ増シタ物モアルノデア

リマス、是等ノ物ニ付キマシテハ、稅率ヲ定メマス上ニ於キマシテモ、他トノ權衡ヲ見マシテ、或ハ生活ニ必要ナ物デアルトカ、或ハ原料ニナリマストカ云フ物ニ付キマシテハ低イ稅、或ハ五分、或ハ一割ト云フ風ナ稅率ヲ盛リマシテ、又ソレガ加工サレマシテ製品ニナツテ居リマスレバ、ソレヨリ高クスル、又直接商品トナリマスル物ニナルト、更ニ其稅率ヲ引上ゲルト云フ風ニシテ、他トノ權衡ヲ見マシテ、其品物ニ付テ適當ナル稅率ヲ盛ツタノデアリマスガ、ソレヲ從量稅ニ直シマス際ニ於テ、多少現行ノ稅率ヨリモ増スモノモ出來テ參ッテ居ルノデアリマス、併シソレハ他トノ權衡カラ見マシテ、ソレ位ナ増シ方ハ差支ナイト云フ風ニ大體考ヘテ居ルノデアリマス、又或ル物ニ付キマシテハ、内地ノ生産上ニ於テ良好ナ結果ヲ得ラレルモノデアルト云フ風ニ考ヘテ、即チソレガ上ルト云フコトハ差支ナイ、寧ロ好キ結果ヲ得ラレルト云フ風ニ考ヘル物モアルノデアリマス、又嗜好品デアリマスレバ、多少上ルト云フコトモ是ハ差支ナイ、又内地ノ産業ヲ保護スルト云フコトノ必要カラ致シマシテ稅率ハ下リマシタガ、實際ノ從量稅ヲ適當ノ程度マデ引上ゲテ、サウシテソレニ依テ保護ノ目的ヲ達スルト云フコトモアルノデアリマス、ソレ故ニ一概ニ稅率ガ下ツテ、實際ノ結果ガ上ツテ居リマス物ニ付キマシテモ、其

上ツテ居ルト云フコトガ、色々ノ點カラ見マシテ適當デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一寸一例ヲ申上ゲテ見マスルト云フト、食料品ノ所デ「カリー」、「マスタード」ノ如キ、是等モ稅率ハ減ジテ居リマスルガ、從量稅率ハ上ツテ居ルノデアリマス、是ハ稅率ハ他トノ權衡上定メタノデアリマスガ、併シ是等ノ物ハ嗜好的ノ物デアツテ、少シ位ノ高率ハ差支ナイト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、又或ハ人造絹絲デアルトカ、或ハ「リロリユーム」、「ブラソケ」ト、綿絲ノ中デモ糸卷ニ卷イタモノデアルトカ云フ風ノモノハ、稅率ハ下ツテ居リマスガ、實際ノ從量稅率ハ上ツテ居ルノデアリマス、其上ツテ居ル程度ハ、是等ノ事業ヲ相當保護スル必要アリト考ヘテ、ソレニ適當ナダケ引上ゲテ居ルノデアリマス、ソレトモウツハ從量稅額ヲ定メテ居ルモノモアル、從價稅ヲ從價稅ノ其儘ニ据置キ、又從量稅ニナツテ居リマスル物ハ、其割出シマシタル稅率ノ如何ニ拘リマセズ、其從量稅額ヲ据置クト云フ物モアルノデアリマス、是等モ据置キマシタ趣旨ガ生産ガアリマシテモ、原料トシテ必要デアツテ、之ヲ引下ゲ若クハ無稅ニスルト云フコトハ、内地ノ生産ニ惡イ影響ヲ及ボス虞ガアリマス、又之ヲ引上ゲルト云フコトハ、是等ハ原料品ニ使ハレルト云フ關係カラ致シマシテ、下ゲル方ガ適當デアルト云フ風ニ考ヘタ物モア

ルノデス、例ハバー二ノ例ヲ舉ゲマスレバ、漆デアルトカ、或ハ銅デアルトカ、亞鉛或ハ醋酸、石灰、製紙料ノ「バルブ」デアルトカト云フモノハ、大體サウ云フ風ナ趣旨デ出來テ居ルノデアリマス、又同ジ据置キマシタ物ニ付テモ生産ガアルノデアリマス、併ナガラ之ヲ引下ゲルト云フコトハ其需要ニ對シテ稍危險ヲ及ボス虞ガアルト云フ風ナ物ニ付キマシテ、据置イタ物モアルノデアリマシテ、ソレ等ハ譬ヘテ見マスレバ、例ヘバ羊毛製ノ「フェルト」帽子及帽體、或ハ硝子板デアリマストカ、瓦斯石油機械ノ小サイ部類ノモノデアリマストカ云フモノデアリマス、又据置イタ物ノ中ニ第二ノ部類ニ屬シマスル物ハ、即チ特殊ノ物デアリマスガ、例ヘバ縫衣「ミシン」ノ機械ノ如キ、是等ノ如キハ無論專賣デアツテ、内地ニ於テ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ据置ト云フ風ナモノハ白金製ノ坩堝デアルトカ、皿デアルトカ云フモノモ、是等ハ特殊ノ趣意カラ致シマシテ据置イタノデアリマス、サウ云フ風ニ稅率ヲ盛リマス上ニ於テハ色々ナ場合ガアルノデアリマス、其結果ト致シマシテ有稅品ヲ無稅ニ改メマシタ物ガ全體デ三十四アルノデアリマス、無稅ヲ有稅ニシマシタ物ハ六ツデアリマス、稅率ヲ輕減致シマシタ物ガ二百二十七、稅率ヲ引上ゲマシタ物ガ六百十二、稅率ノ變更ノナイ物ハ八百三十ト云フ風デ、大體五

十「パーセント」ノ物ハ現行据置ニナツテ居ルノデアリマス、以上ガ大體ノ御說明デアリマスガ、終リニ此改正案ノ附則ト致シマシテ、大正十一年ノ法律第二十二號及大正十四年法律第二號ヲ廢止致シテ居ルノデアリマス、十一年ノハ、銅、真鍮及青銅ノ輸入稅ニ關スルモノデアリマスシ、十四年ノモノハ、同ジク英吉利ノ協定ガ無クナリマシタ際ニ於キマシテ、應急ノ處置ト致シマシテ、鐵板等ニ付テノ稅率ヲ定メテ居ル法律デアリマスガ、是ハ今回ノ稅率ノ別表ノ中ニ之ヲ編入致シタノデアリマスカラ、此法律ヲ廢スルコトニ致シタノデアリマス、以上ハ大體ノ御說明デゴザイマスガ、尙ホ御疑問ノ點ニ付キマシテハ御尋ニ依リマシテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○加藤委員長 商工大臣カラ御説明ガアリマスカ——ソレデハ今ノ大體ノ御説明デ他ニ御聞キスル必要ハアリマセヌカ、無ケレバ總體質問ニ入りマス——ソレデハ是カラ全體ニ付テノ質問ヲ開始シマス

○堀切委員 私ハ大體ノ方針ニ付キマシテ大藏大臣ノ御答辯ヲ要求致シタイ、商工大臣御出席デゴザイマスガ、關稅法ニ付テノ大體ノ御説明ハ、政府ヲ代表シテ大藏大臣ガヤラルコトガ當然デアラウト思ヒマス、其御演說ニ付テ主トシテ御尋致シタイノデアリマス

○加藤委員長 大臣ハ稅制整理ノ方ニ

行ッテ居ラレルサウデスガ、代ッテ御質  
疑ニ對シテ説明スルコトハ出來ルヤウ  
デスケレドモ、大臣ノ御出席ヲ求メマ  
スカ

○堀切委員 此關稅案ハ非常ニ重大ナ  
ル關係ヲ國民生活ノ各方面ニ及スノデ  
アリマス、稅制整理案モ重大ニハ相違  
アリマセヌガ、是ト相對立シテ非常ニ  
重大ナモノデアル、又委員長モ吾々ノ  
老先輩加藤君ヲ煩シテ居ル位デアリマ  
スカラ、大藏大臣ニ御出席ノ上御答辯  
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員長 ソレデハ大臣ノ出席ハ  
求メマスガ、今向フデ御説明中デアリ  
マスカラ、ソレガ濟ムマデ保留シテ他  
ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、大臣ガ  
出席シテ御質問ナサイマスカ

○堀切委員 左様致シマス  
○岩切委員 私モ大藏大臣ニ承リタイ  
事モアリマスケレドモ、ソレハ堀切君  
ト同様大藏大臣ガ御見エニナリマシタ  
際ニ承リタイト思ヒマス、併ナガラ其  
他ノ問題ニ付キマシテ此際御尋致シマ  
ス、第一ニ御尋致シタイ事ハ、是ハ商工

大臣並ニ農林大臣ノ産業政策ニ對スル  
今後ノ御見解ニ關スル問題デアルト考  
ヘマスガ、只今黒田政府委員ノ御話ニ  
依リマシテ、本關稅政策ノ御改正ノ趣旨  
ハ、大體大藏省トシテノ御考ハ承リマ  
シタガ、商工大臣並ニ農林大臣ハ、自己  
ノ省トシテノ方針ハ御説明ガ無イヤウ  
ニ考ヘマスガ、是ハ大藏省ノ御見解ト

若シ同ジデアルトスルナラバ、只今ノ  
御説明ヲ基礎トシテ御尋申シタイト考  
ヘマス、關稅政策ハ非常ニ國民生活ニ  
重大ナル影響ヲ持ッテ居ルコトハ、是ハ  
議論ノ無イ所デアリマス、是ハ私本會  
議ニ於テモ質問致シタイノデアリマス  
ガ、單ニ關稅ノ表ヲ改メルト云フコト  
ニノミ勿論執着スルモノデアリマセ  
ヌケレドモ、此關稅ト云フモノハ、同時  
ニ國內産業ヲ如何ニ確立シテ行クカト  
云フコトニ非常ニ重大ナ關係ヲ持ッテ  
居ルト考ヘマス、一方ニ保護政策ヲ執  
ルト云フコトヲ大體ノ主眼ト爲サルト  
スルナラバ、保護政策ヲ執ルト同時ニ、  
如何ニシテ内地ノ産業ヲ興スカト云フ  
コトヲ考ヘナケレバナラス、保護政策  
ヲ執ッテ内地産業ニ十分ナル力ヲ注ガ  
ナケレバ、其結果ハ當然物價ノ引上ト  
云フコトニナッテシマウノデアリマス、  
所謂收入主義ニ結論ガナッテ來ル、若シ  
關稅政策ト云フモノガ、保護關稅ノ意  
味ガ徹底スルナラバ、收入ガ零ニナル  
ノガ結局理想デアアル、勿論此中ニハ保  
護政策ノミデハナイ、原料ニ對シテ無  
稅ニサレル保護モアリマスケレドモ、  
保護政策ノ關稅ハ理想トシテハ少シモ  
收入ハ無クナル、隨テ豫算ノ中ニ將來  
其額ヲ見積ルト云フコトモ極メテ不常  
ナ事ニナルト、是ハ理想的ニ云ヘバサ  
ウ云フ結論ニナルト考ヘマス、デアリ  
マスカラ一方ニ關稅ト云フモノガ目的  
ヲ達スルニハ如何ニシテ産業ノ發達ヲ

圖ルカ、此方面ニ對スル商工、農林兩大  
臣ノ御方針ト云フモノガナケレバナラ  
ヌト思フ、併ナガラ現下ノ内地産業ノ  
狀勢ヲ考ヘマス、殊ニ農村ニ於テ甚  
シク片手落ナ點ガアル、若シモ産業ヲ  
發達スル爲ニハ、一面ニハ關稅政策ヲ  
十分ニ考慮スルトスルナラバ、之ニ對  
シテ内地産業ニ對スル十分ナル獎勵ト  
云フモノガナケレバナラス、然ラズン  
バ前ニ言フ如ク物價ト云フモノハ洵ニ  
高クナル、其處デ金融問題ト云フモノ  
ガ、最モ是ハ大事ナ問題ニナッテ來ルノ  
デハナイカ、而モ農村ニ於ケル金融狀  
態ハ、一概ニ非常ニ金利が高イト思フ、  
地方ノ小銀行ノ金利ト云フモノハ、決  
シテ中央デ金利ノ協定ヲ致シマシテ  
モ、殆ド高利貸ニ等シイヤウナ銀行ガ  
尙ホ今日地方ニアル、假ニ非常ニ高イ  
金利デ融通ヲ得ルト致シマシテモ、借  
リラレバマダ結構デアリマスケレド  
モ、地方ノ小産業家ハ今日金融ト云フ  
モノハ非常ニ塞サレテ居ルト云フ現狀  
デアルト思ヒマス、低利資金其他ノモ  
ノガアルト申シマシテモ、是亦極メテ  
不十分デアアル、此問題ニ對シテハ、先月  
大藏大臣ハ地方ノ産業ヲ興スルニ低利  
資金ヲ主體トシテヤルノハ宜シクナイ、  
自己ノ力ヲ以テ自ラシナケレバイヤ  
ト云フ御趣旨ノ御答辯ガアリマシタケ  
レドモ、自己ノ力ヲ以テ産業ヲ興スル  
ノ能力ガアレバ、日本ノ農家、農村産業  
ト云フモノハ既ニ興ッテ居ナケレバナ

ラヌ、サウ云フ能力ガナイカラシテ低  
利資金ノ途ヲ仰ギ、從來ノ一割乃至二  
割、三割ト云フ高イ金利ヲ整理シテ比  
較的利益ノ少イ農産物ヲ能ク賣ラウト  
云フノガ今日農家ノ心得デアリマス、  
此地方ノ産業ヲ興スルニ對シテ、今日  
農村ノ金融ト云フモノハ不十分デナイ  
ト云フコトヲ農林省ノ方々ハ御考ニナ  
ルノデアリマス、又大藏大臣ガ言ハ  
レル通り、自己ノ力ヲ以テ、地方ノ産業、  
殊ニ農村産業ト云フモノハ興セバ宜  
イ、低利資金ナルモノハ從タルモノデ  
アルト云フコトヲ農林省ハ御考ニナッ  
テ居ルノデアルカ、又サウデナイトス  
ルナラバ、私ガ言フガ如ク地方ノ資金  
ハ今日不十分デアアルト云フ事實ハナイ  
ト御認メデアルカ、ソレ等ノモノヲ若  
シ處置サレルト致シタナラバ、如何ニ  
シテ農村産業ヲ開發スルノデアルカ農  
林省ノ方カラ伺ヒタイ

○小山政府委員 只今ノ御尋ノ産業ノ  
根本政策ニ付テ農林大臣ヨリノ説明ヲ  
求メラレタノデアリマスガ、是ハ御要  
求ノ通り農林大臣カラ御答スルコトニ  
致シマス、第二ノ農村金融ノコトニ付  
テ、政府委員トシテノ説明ヲ御求メニ  
ナリマシタ、大體之ニ就テ申上ゲマス、  
農村ニ於ケル産業政策ニ付テハ、農林  
省ト致シマシテハ、五十議會ニ於テ農  
林省ノ獨立ノ豫算ヲ御協賛ヲ得マシタ、  
此精神ニ基キマシテ、其所管ノ事業ニ  
對シ、最善ヲ盡シテ其効果ヲ擧ゲタイト

努メテ居リマス、御承知ノ如ク農村ノ産業ニ付キマシテハ、出來得ルダケ獎勵助長ノ方針ヲ執ツテ居リマスコトハ、各般ノ施設豫算ノ上デ御認メ下スツテモ分ルト思ヒマスガ、併ナガラ唯モ政府ノ施設スル所ノミニ依テ我國ノ産業ガ其目的ヲ達シヤウトハ考ヘマセヌ、民間ニ於テモ政府ノ施設ト相俟テ、協力シテ其効果ヲ舉ゲルコトニ致シマセヌケレバ、政府唯單リ此力ヲ致シテ所期ノ目的ヲ舉ゲ得ルト云フコトハ至難デアラウト考ヘマス、而シテ只今ノ御尋ノ農村金融ノ問題ニ付テハ、每議會ニ於テ是等ニ對シテノ種々御意見モアリマスシ、農村金融ノ事ニ付テ各方面ノ種々ノ御意見モ承リ、私共モ其御意見ノ全部ニ共鳴スル譯ニハ參リマセヌガ、確ニ御意見ノ中ニ拜承スベキ所ノ御尤デアルト信ズル所モアリマス、

勸業銀行、農工銀行、而シテ産業組合中央金庫等ノ金融關係ニ付テモ、既ニ勸業銀行ニ於テモ此ノ方ニ意ヲ加ヘマシテ、成ベク農村ノ金融ヲ考慮シテ、御意見ノアル所ニ副ヒタイト云フ風ニ努メテ居ルヤウデアリマス、中央金庫ノ事ニ付キマシテモ、是ハ前ノ議會デ御協賛ヲ得マシテ、此中央金庫本來ノ性質カラ、成ベク其機能ヲ發揮スルヤウニト云フコトヲ、政府素ヨリ監督ノ位地トシテ之ニ努メテ居ル譯デアリマシガ、申上ゲルマデモナク産業組合中央金庫ハ其創立日尙ホ淺ウゴザイマシテ、只今其機能ヲ十分ニ發揮スルノ状態ニ進ンデ居リマセヌ、サリナガラ只今ノ御意見ニアリマス金融ノ方面ニ付キマシテハ、先ヅ以テ政府監督下ニアリ、議會ニ於テ中央金庫ヲ創立致シマシタ時ノ其精神ニ則リマシテ、成ベク一日モ早ク其ノ金融ノ衝ニ當ラシメタイト考ヘマス、ツイ先頃是等ニ付テノ金利方面ノ中央金庫ノ利率引下等ニ付テモ考慮ヲ拂ヒマシヤウナ譯デアリマス、今後ニ於テモ只今申上ゲマシタ意味ニ於テ十分ニ其方面ニハ努力致シタイト考ヘテ居リマス

マシテ八千萬圓ト云フモノガ繰延ベラレタノデアリマス、是ハ其當時當然地方ニ振向ケラルベキ八千萬圓ト云フモノハ繰延ベラレテ、地方ニハ其金ガ廻ッテ行カナカタ、尙ホ公債券其他ニ依テ地方ノ零細ナル金ト云フモノハ郵便局ノ窓カラ十分ニ絞メ上ゲラレテ、中央ノ經費ノ中ニ繰込マレテ居ル、本年ニ於テモ公債ノ非應募政策ハ執ラレルケレドモ、其財源ハ依然トシテ、地方ノ小金融者ヲ相手トシテ取ラレル状態ニアルノデアリマス、是ハ一面カラ考ヘルト中央ノ大ナル銀行家ヤ大キナ事業家ヲ相手トシテ御相談ニナレバ、只今ノ政策ヲ何レモ是認シマスケレドモ、地方ノ零細ナル金ノ所有者、小事業家ノ頭力ニ考ヘラレバ、非常ナ矛盾シタ政策ノヤウニ考ヘラレル、假リニ義務教育ト云フヤウナモノヲ四千萬圓地方ニ廻シタトシテモ、一方ニ公債券デ五箇年ニ二億圓モ零細ノ金ヲ取ラレテ行ケバ、ソレダケノ金ト云フモノハ地方ノ金融界カラ無クナルコトニナルト私ハ思フノデアリマス、殊ニ中央金庫法案ノ出來マス當時ノ議論モ、我國ノ郵便貯金ト云フモノハ十數億、十一億カ二億デスカ、アルガ其中ノ五割以上、五億圓以上ト云フモノハ、殆ド地方ノ農民乃至小賣業者ミタヤウナ人達ノ懐ロカラ出タ金デアル、然ルニ其ノ中ノ五百萬足ラズノモノガ地方ニ還元サレテ居ルト云フノハ、地方ニ對シテ極メテ

不深切ナ政策デアルト云ウテ、例ノ中央金庫ト云フモノガ出來タ、吾々ハ其後ト雖モ、是等ノ金ガ益地方ヘ還元シテ行クコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、只今ノ狀況カラ申シマスレバ、預金部ノ金ハ殆ド地方ニハ問題ニナリマセヌガ唯纔ニ遞信省デ計畫サレテ居ル簡易保險ト云フモノガ、低利資金トシテ稍地方ニ融通サレテ居ルノデアリマス、此際私ハ商工大臣ニ御尋シタイト思ヒマスガ、此簡易保險ナルモノハ、地方ノ低利金融ヲ助ケル爲ニハ非常ナ有利ナル政策デアアル、尙之ヲ進ンデ或ハ火災ノ簡易、更ニ進ンデハ保險業ノ金部ヲ國營ニシテ、何十億ト云フ定額ノアル是等ノ事業ヲバ政府ノ手ニ收メテ、低利資金トシテ地方ノ産業資金ニ廻ハスヤウナ御計畫ハナイカドウカ、是ハ大分世間デモ問題デアアルヤウデアリマスガ、ソレニ對シテ商工大臣ハ如何ナル御考ヲ持ツテ居ルカ、之ヲ一ツ御聞キシタイ

○片岡國務大臣 只今ノ岩切君ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルニ先ダチマシ見ヲ申上ゲテ置キマス、是ハ本會ニ於テ大藏大臣ヨリ説明ヲ致シタノデアリマスカラ、重複スルヤウナ事ヲ避ケル爲ニ省略シタイト考ヘテ居リマシタガ、岩切君ノ先ノ御尋ノ御言葉中ニモ、商工省トシテ産業ノ方針政策ナルモノハ遺憾ガアルデアラウト云フヤウナ御

言葉ガアリマシタノデ、極メテ簡單ニ申上ゲルノデアリマスガ、此現在ノ關稅法ハ四十二年ノ制定デアリマシテ、今日ニ至リマスル間ニハ、世界ノ所謂大戰爭ナルモノガ挾ンデ居リ、產業界ニ於キマシテモ、亦生活ノ狀態ニ於キマシテモ非常ノ變化ヲシテ居リ、我國ト致シマシテモ、今日相當ノ改正ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトハ、最早全體ニ異論ノ無イコトデアラウト思ヒマス、唯其關稅ノ改正其モノガ實生活ニ重大ノ關係ヲ持ツコトハ岩切君ノ御意見ノ通りデアリマス、若シ之ヲ引上ゲルコトニ依テ消費者ノ側ガ高イ物ヲ消費シナケレバナラヌト云フコトニナリマス、隨テ物價ノ騰貴ヲ喚起ス、斯ウ云フ狀態ニ陷ルノデアリマス、ソレデ改正ヲセナケレバナラヌト云フコトハ、誰モ一點ノ議論ハナイ筈デアリマスガ、其改正ノ程度ニ至ッテハ非常ナ重大ナル事デアルト思フ、是ニ於テ商工省ノ關係ニ於キマシテハ、今度ノ改正ノ關稅其モノノ大部分ハ關係ヲ有スルノデアリマス、關稅改正ノ方針ト致シマシテハ、我國ノ產業ニシテ貿易上對抗シ得ル物ニ對シテハ、無論關稅ノ引上ヲ行ハヌノミナラズ無稅ニスル、又原料其他ノ物デ我國ニ出來ナイ、多少產業其モノハ興ルトシテモ、若干ノ保護ヲ加ヘタ位デハ成立ノ仕途グラレナイ、斯ウ云フモノハ遺憾ナガラ當相ノ時期ヲ待ツコトヲ要スルト思フ、之ニ

反シテ當相ノ期間相當ノ保護ヲ加ヘレバ自給自足ノ域ニ達シ得ル、斯ウ云フ見込ノ物ニ對シテハ保護ヲ加ヘル意味ニ於テ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、大體關稅改正ノ商工省トシテノ意見ハ、此二點ニ基イテ出發シテ居ルト御承知ヲ下サツテ宜シト思フノデアリマス、而シテ產業保護ニ關スル岩切君ノ御意見デアリマス、此產業保護ト云フコトハ極メテ必要ノ事デ、國ノ隆昌富強ハ產業ノ發達如何ニ依ルコトデアリマスカラ、之ニ十分ノ功績ヲ擧ゲシムルト云フコトニ努力スベキハ今更論ヲ俟タヌノデアリマス、併ナガラ此產業ト申シマスルト云フト、商工省若クハ農林省ノ力ノミニ依テハイカヌト云フコトハ、先ニ政府委員ヨリ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ勞働者ノ關係モゴザイマス、交通ノ關係モゴザイマス、運賃ノ關係モゴザイマスシ、金利ノ關係モ生ズルノデアリマシテ、唯商工省トシテハ產業ノ發展ニ障礙ヲ見ルコトガアレバ之ヲ排除スルコトハ、是ハ當然ノ務メデアリマス、貿易ニ關スル利用ニ對シテハ、成ベク之ニ保護モ加ヘ、監督モ致シ、指導モ致スト云フコトニ力ヲ盡スコトハ當然デアリマス、各分業ノニ政府其モノノ定ムル方針ニ從テ行クヨリ外ニハ、部分部分ニ依テ成功セシムルコトハ甚ダ難イノデアリマス、今御話ノ金利ノ問題、金融ガ地方ハ如何ニモ梗塞シテ非常ニ高イコトヲ

私知ッテ居ル、併ナガラドウモ是ハ困ツタコトハ、金融業者ノ側カラ見マスルト、安心ノ付ク方法サへ備ハレバ、金融機關ハ招イテ來ナクテモ赴イテ行クモノデアリマス、其處ニ其安全ナル放資ノ途ヲ得ナイト云フコトニナルト其途ハ開ケテ來ナイ、要スルニ金融ハ付ケタイガ付ケルヤウニ行カナイト云フノガ今日ノ實情デゴザイマス、是ガ國民全體ガ非常ニ德義心ガ高クナッテ、一旦借リタ金ハ必ズ返ス、貸シタ金ハ返ルモノデアルト云フヤウニナルト宜シイデスガ、ドウモ實際ハサウイカヌノデアアツテ、如何ニモ今日ノ地方ノ狀況ト云フモノハ困ツタ狀況ニアルト思ヒマス、是ニ於テ商工省ノ方ノ側カラハ、重要輸出品ニ關スルヤウナ工業ニ對シテハ成ベク組合ヲ設ケマシテ、其組合全體ノ責任ト云フモノヲ以テ改良モスル、金融モ得ル、斯ウ云フ風ニサセタイ、斯ウ考ヘマシテ此組合法ヲ今變理シテ居リマス、是ガ出來ルト同時ニ農工銀行或ハ勸業銀行等カラ、必シモ擔保ガナクテモ、其組合ト云フモノノ組織宜シキヲ得レバ金融ノ途ノ開ケラレルヤウナ法律ヲ作ッテ、改正シナクチャナラス、此改正案ハマダ案ガ具ハリマセヌガ、當議會ニ協賛ヲ得タイト思ッテ居リマス、要スルニ金融ノ途ハ、金融ヲ受ケヤウトスル者モ金融ノ出來ルヤウニ考ヘテ行ク、ソレカラ金融業者ニ在ル者モ安全ナル方法ニ

導イテ行クト云フ風ニスルヨリ仕方ガナイト思フ、今御尋ノ生命保險事業ヲ國營トシテ、其金ヲ一ツ融通スルヤウニスル考ハナイカト云フコトデアリマス、是ハ世間ニ於テ其論ハゴザリマス、又保險ノ性質カラ考ヘマシテモ、寧ロ國營ノ方ガ適當デアラウト思ハレル節モ少クナイノデアリマス、併ナガラ生命保險事業ノ我國ニ起リマシタノハ明治十四年デアリマス、今日マデ可ナリ長キ星霜ヲ經テ居リマス、尤モ多少盛大ニナッテ來タト世間ニ見ラレルヤウニナリマシタノハ明治二十二年以來デアリマスガ、今日ハ四十四、五ノ會社ニ分レテ居リマシテ、契約高モ四十億ヲ超シテ居ル、積立金ノ如キモノモ約六、七億ニ達シテ居ルト思ヒマス、斯様ニナッテ見マスルト可ナリ——同シ生命保險ト一口ニハ言ヒマスガ、非常ニ複雑シテ居リマス、詰リ利益ノ分配方法ニ至リマシテモ、種々ニ分レテ居リマス、ソレカラ又其六、七億ノ金ト云フモノガ、金融業者ノ間ニモ融通サレテ居リ、又金融業者ニアラザル事業家ノ手ニモ渡ッテ居ル譯デアリマス、之ヲ一朝國有トシテ國ニ引上ゲル、斯ウ云フガ如キコトヲヤツテ、果シテ經濟界ニ於テ何等ノ反動ヲ與フルコトガナイヤ否ヤ、又實際種々ニ複雑ニ分レテ居ルモノヲ統一シテ行ク上ニ於テ、一ツノ機關デ以テ旨ク統一ガ附イテ、前途隆盛ヲ期シテ行クコトガ出來ルヤ否ヤト云フガ如

キコトハ、餘程考慮ラセヌナラ又問題デアラウト思ヒマス、ソレデ只今ノ所ニ於テハ、國有ニシテ其金ヲ融通シヤウト、斯ウ云フコトヲ考ヘテハ居リマセヌノデアリマス、事柄ソレ自身ハ今始マツタ問題デナクシテ、餘程以前カラ其論ハアルノデアリマシテ、私自身トシテモ平生ニ多少ノ攻究ハ致シテ居リマスガ、今政府トシテ國有ニ斷行スル考ヲ持ッテ居ルトハ申上ゲル時期ニ到達致シテ居リマセヌ

○岩切委員 農林省ノ方ニ御尋シタイト思ヒマスガ、勿論逐條的ノコトハ後デ聞クコトデアリマスカラ成ベク是ハ省キマスガ、大體論ト致シマシテ、此度ノ改正ノ最モ世間ノ注意ヲ惹キマシタ問題ハ、農産物ノ保護ト云フ問題ガ極メテ手薄デアルト云フ點デアリマス、是ハ日用品ノ騰貴ヲ防止スルト云フ意味カラシテ、或ハ小麦トカ鳥卵ト云フヤウナモノヲバ、割合ニ保護シナカッタト云フ御説明デアリマシタガ、此處ハ最モ我國ノ産業組織ノ上ニ對スル主要點ニ關係ノアル問題ダト私考ヘマス、成程日用品ハ今日非常ニ高イ、故ニ農産物ガ是レ以上高クナルト云フコトハ、我國ノ國民生活ノ基礎ヲ脅威スルモノデアルト云フ議論モ一應尤デアリマスガ、第一只今ノ農産物ガ我國ノ物價ノ現狀カラ見マシテ高イト云フ御考デアリヤ否ヤ、先ヅ是ガ第一ノ質問ノ點デアリマス、ソレカラ農産物ニ對ス

ル保護政策ト云フ如キ態度ヲ執ル必要ハナイカドウカ、我國ノ如キ未ダ工業ガ十分發達シナイ、殊ニ工業原料ノ少イ國デアッテ、自國ノ原料ヲ以テシテハ出來ナイヤウナ我國ニ於キマシテハ、自ラ工業ニ對スル政策ト農業ニ對スル政策ガ違ハナケレバナラス、氣候ガ極メテ溫暖デアッテ、天惠ノ利用ト云フコトガ他ノ國ニ比シテ最モ出色デア

ル我國ニ於テハ、ドウシテモ此農業ト云フモノヲモウ少シ保護シテ發達サセテ行クト云フ必要ガアルノデハナイカ、唯關稅率ヲ高クスレバ物價ガ上ガルト云フ單純ナル議論ハ、是ハ勿論承服サレマスケレドモ、一面關稅ト云フモノヲ設定シマシテモ、他ニ農業ヲ大量生産ニスルトカ、モウ少シ金融ノ途ノ附ケルト云フコトガアルナラバ、此物價ノ點ハ、一面關稅ヲ設定シマシテモ、片一方ニ於テ獎勵スル農業政策ニ據ルヨリハ緩和ガ出來ルカモ知レマセヌ、此事ヲ爲サズシテ、關稅ノミヲ高クスレバ、隨テ日用品ノ騰貴ト云フ問題ニ一直線ニ進ミマスケレドモ、其處ガ我國ノ前途ニ對スル當局大臣ノ政策ヲ立テラルベキ所ノ眼目デアリマス、一方ニ關稅ヲ以テ農村ヲ保護スルナラバ、物價ノ引上ト云フコトバカリヲ考ヘズニ、ソレヲ緩和スベク他ニ農業政策ト云フモノヲ立テテ、産農物ノ價格ト云フモノヲモウ少シ上ゲル、サウシテ農家ノ生活状態ヲ改善シテ行ッテ、我國

ノ國家的基礎ヲ茲ニ確立スルト云フコトガ必要デヤナイカ、極メテ簡單ナ問題デ、卵ノ如キデモ、僅カ一箇年ニ千五六百萬圓ノモノデアルト考ヘマスケレドモ、吾々ノ聞ク所ニ依レバ農業家ノ何時デモ例ニ引カレル丁抹ノ鶏卵會社ノ事業ノ如キデモ、アノ小面積ノ丁抹ガ非常ナ農産物ヲ今日拵ヘテ居ル、乳製品ノ如キニ付テモ、内務省ナドハ何時モ良イ「パンフレット」ヲ拵ヘテ、地方ノ團體ニ頒布シテ、吾々ガ内務省ニ居ル時分ニハ、内務大臣ハ何時モ丁抹ノ例ヲ引イテ地方ノ産業ノ發達ト云フモノヲ獎勵サレテ居ッタ、斯ウ云フ例モアルノデアアル、殊ニ我國ハ氣候ガ好イノデアッテ是等ノ政策ヲ執ルノニハ持ッテ來イノ國デアルト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ農林大臣ハ、是等ノ農産物ノ物價問題ト云フコトニ付テハ御考慮ガナイノデアリマスガ、此點ヲ伺ヒマス

○早速國務大臣 只今ノ御尋デアリマスガ、私中途カラ此席へ罷出テ最初ニ御述ベニナッタコトヲ多少聽漏シテ居リマスカラシテ、尙ホ私ノ答ヘマシタ後ニ於テ御尋ガアリマスレバ、更ニ御答ヘスルコトニシテ、十分ニ御尋ノ趣意ノ分ラヌ點モアリマスケレドモ、大體ニ於テ御答ヲ致シマスカラ、豫メ左様御承知ヲ願ッテ置キマス、色々御述ベニナッタノデアリマスガ、大體ノ産業政策ト云ヒマスガ、其方針ト致シ

マシテハ、先日本會議デモ大體申述ベマシタ通り、無論産業ト云フモノヲ獎勵シテ行カナケレバナラス、助長シテ行カナケレバナラス、何處マデモ國家ノ爲メ國民ノ爲ニ出來得ルダケ此助長獎勵ト云フモノハ、十分ニ之ヲ行ハナケレバナラスト云フ考ハ持ッテ居ルノデアリマス、唯ドウ云フヤウニヤッテ行クカト云フ所ガ問題ニナツテ來ル、是モ矢張見様デアリマスガ、例ハバ農産物ノ保護ト云ウテモ、無論或程度ニ於テハ此助長獎勵ト云フモノハ保護ヲ意味シテ居ルノデアアルガ、絶對ニ放任主義ヲ執ルト云フヤウナ考ハ私共持ッテ居ラス、物ニ依テハ保護シナクテモ宜イモノモアルデアリマセウ、多少獎勵ト云フ方針ヲ以テ導イテ行ケバ、殊更ニ保護ト云フコトヲシナクテモ宜イト云フモノモアルデアリマセウ、併ナガラ或物ハ力ヲ極メテ之ヲ保護スル必要ガアル、斯ウ云フ風ニ色々問題ハ分レテ來ルノデアリマスケレドモ、今日政府

ノ方針トシテ居ル所ハ、農業ニ對シテ放任主義ヲ執ルト云フ考デハ毛頭無イノデアリマス、此事ハ先日モ私ガ申シタ農産物ノ關稅ノ點ニ關シテ只今モ御尋デアリマスガ、無論農産物ヲ保護スルト云フ精神ノ上ニ於テハ、岩切君ノ御述ベニナルノモ變リハナイ、但シ關稅ヲ保護スルト云フ場合ノ話デアル是ガ私ハ矢張繰返シテ申ス通りニ、唯農産物ヲ保護スルト云ウテモ、一方カラ



言へば矢張消費者ノ立場モ考へテ見ナケレバナラス、生産者ヲ保護スルト云フコトノ爲ニ、多數ノ消費者ニ生活上ノ困難ヲ與ヘルヤウナ事ガアツテハナラヌカラ、今回ノ關稅改正ノ方針モ、生活ノ必需品ニ對シテハ成ベク關稅ノ率ヲ輕クスル、或ハ無稅ニスルト云フ方針デ立テラレテ居ルノデアリマス、相成ベクハ生活ノ必需品ナドニ對シテハ、關稅ヲ輕クスルト云フ方針デ立テラレテ居ルノハ、即チ國民生活ノ安定ト云フコトヲ頭ニ置イテ考出サレタ方針デアル、其間ノ調和ヲ取ラナケレバナラヌノデ、一方ニ於テハ産業ヲ保護スルト云フ精神モ之ヲ重シジナケレバナラヌケレドモ、他ノ一方ニ於テモ又一般國民ノ生活ノ安定ト云フコトモ考ヘテ行カナケレバナラス、其間ノ調和ヲ取ツタ所ガ今回ノ關稅改正ノ案ニ現ハレテ居ル、一ツ々々ノ品物ニ付テ之ヲ研究スルト云フコトニナリマスレバ、色々ノ材料ニ依テ更ニ研究ヲ重ネナケレドナラヌノデアリマスガ、大體ノ方針トシテハ、先日モ申述ベ、只今モ申述ベマス通りデアツテ、詰リ生産者ト消費者トノ間ノ調和ヲ取ルト云フコトガ大切デアルト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○岩切委員 大體其御答辯ハ先日モ承ツタ所デアリマシテ、更ニ繰返ス必要モアリマセヌケレドモ、私ハ只今ノ御言葉ニアツタ調和ト云フ意味ノ中ニハ、非常ニ微妙ナ點ガアルト思ヒマス、是非譬へば今日本ノ卵ガ一個十錢スル、支那ノ卵ハ一個一錢ニモ當ラナイ、日本ノ卵ハ高イカラ安イ物ヲ持ッテ來レバ宜イデハナイカト云フノハ、現在ノ事情ガ其儘永久ニ續クト云フモノナラバ其議論ノ通りデアリマス、併ナガラ日本ノ此惠メレタ國土ニ於テ、度々大臣ナドガ言ハレル如ク、獎勵スレバ發達スベキ性質ヲ持ッテ居ッテ、而モ獎勵シテ行ケバ——假ニ鶏ノ如キニシテモ、只今農家ハ全國平均シテ五羽位ノ鶏ヲ飼ッテ居ルガ、是モ獎勵ノ方法如何ニ依テハマダマダ増加シテ行ク見込ガアル、丁抹ナドノ例ヲ引クマデモナク、十分發達スル見込ガアルト云フ國デアツテ、是ガ發達スベキモノデアルト云フ目安ガ付キマスナラバ一面ニ保護シテ大量生産ニ導クヤウナ獎勵ノ政策ヲ執ラナケレバナラス、唯物價問題ト云フコトダケヲ眼目ニシテ關稅問題ヲ云云スルナラバ片手落ノ政策ニナルノデハナイカ、サウ云フ議論ノ立方カラ私ハ繰返シテ申スノデアリマスガ、是ハ又後デ御答辯下サレバ承リマス、次ニ是ハ此前ノ本會議ニ於テ簡單ニ一言聞イテ置イタノデアリマスガ、今朝ノ新聞ニモ見エテ居リマシタ、關稅常設委員會ト云フモノヲ拵ヘテ、ソレハ勅令ニ依テヤル、法律ニ關係ナイモノデ、世間デ言フエライ人々ヲ委員ニシテ、其處デ時々研究シ、適當デアルト思フヤ

ウナモノハ關稅率ヲ改正スルト云フヤウナコトガ今朝新聞ニ見エテ居リマス、是ハ新聞ノ誤リカ分リマセヌガ、其内容ヲ承リタイト思フ、若シサウ云フ委員會ト云フモノガ出來テ、其委員會ノ中デ將來關稅問題ト云フモノヲ、其委員ノ人達ノ權限ニ依テ勝手ニ改正シテ行クト云フコトナリマス、是非非常ナ重要ナ問題ニナツテ來ヤシナイカト思フノデアリマス、此點ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○黒田政府委員 私カラ御答致シマス、關稅委員會ノ事ニ付キマシテハ、先日本議場ニ於キマシテ大藏大臣カラモ一寸御答辯ヲ申上ゲタ次第デアリマス、此法案ガ幸ヒ議會ヲ通過致シマシタナラバ、來年度ニ於キマシテ關稅ニ關スル常設委員會ヲ設ケルコトニ付テ考慮スルト云フコトヲ大藏大臣ハ御話ニナツタノデアリマス、此常設委員會ハサウ云フヤウナ次第デアリマシテ、未ダ具體的ニハドウ云フ組織デ、ドウ云フ權限ト云フコトマデハ問題ニナツテ居ラナイノデアリマスケレドモ、大體吾々ガ考ヘテ居リマスノハ、只今岩切君ノ御話ニナリマシタ常設委員會ニ於キマシテ關稅率ノ調査ヲ致シマシタ結果、年度ノ半ニ於キマシテ議會ノ協贊ヲ經ズシテ其稅率ヲ變更スルト云フ風ナコトマデハ考ヘテ居ラナイノデス、勿論緊急ノ必要ガアリマシテ、稅率ヲ或ハ輕減シ或ハ無稅ニシタコトハ既ニ前例ノアルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、斯ノ如キ緊急ノ必要ガアリマシタ場合ニ於テ、或ハ緊急勅令等ニ依テ變更サレルト云フコトモアラウト思ヒマス、サウ云フ風ナ時ニ、或ハ委員會ニ之ヲ諮問スルト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ、又是ハ緊急ノ事デアリマスカラ、委員會ニモ諮問セズシテ、之ヲ緊急勅令ニ依テ其目的ヲ達スルト云フ風ナコトニナル場合モアラウカト思ヒマスガ、サウ云フ場合ヲ除キマシタナラバ、委員會ニ於テ常時此稅率ハ實際ニ之ヲ施行スル上ニ於テ果シテ適當デアアルカドウカ、或ハ經濟界ノ變動デアアルトカ、若ハ産業狀態ノ變化ニ伴ヒ、稅率保護ノ目的ヲ持ッテ居ツタモノデアアルカラ不適當デアアル、或ハ是ガ多キニ失シテ、却テ物價ニ惡影響ヲ及ボスト云フヤウナ事ガアリマシタナラバ、ソレ等ノ點ヲ十分ニ研究致シマシテ、其結果政府ニ於テ果シテ變更スルガ適當デアアルト云フコトニナレバ、案ヲ具シテ其次ノ議會ニ提案シテ、議會ノ御協贊ヲ求メルト云フコトニナルデアラウト思フ、又前申上ゲル通り組織ニ付キマシテモ、果シテドウ云フ範圍ノ人ヲ網羅シテ委員會ヲ組織スルカト云フコトモ定ツテ居ラヌノデアリマスガ、前申上ゲル通り議會ノ閉會中ニ於テ稅率ヲ變更スル權限ヲ委員會ニ與フルト云フヤウナコトハ無カラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員長 ソレデハ堀切君始メ政友會側ノ委員諸君カラ大藏大臣ノ出席ヲ、此委員會ヲ續行スルニ付テ是非求メタイ、斯ウ云フ御要求デアリマスガ、只今アチラデ答辯中デ出席ガムツカシイト云フコトデアリマスカラ、明日午前十時大藏大臣ニ必ズ出席シテ貰フヤウニ今次官ニ御求メシテ置キマシタカラ、今日ハ本會モアル事デアリマスカラ是デ散會致シマス

午前十一時五十四分散會